

# 会 議 録

会議名：2024年度 第一回介護・医療連携推進会議	
場 所：高槻けやきの郷 第一会議室	
日 時：2024年9月17日（火） 13：30～14：15	
出席者：K様（地域住民代表 竹之内地区福祉委員会長）F様（冠・大塚地域包括支援センター） U様（しあわせ訪問看護ステーション）大阪医科薬科大学 実習生2名 N様・M様（ご利用者ご家族） 高槻けやきの郷 河島（訪問課長）、福田（計画作成責任者）、寒川（訪問介護員） 欠席者：A様（訪問看護ステーションいこいの森）、ご利用者（ご家族4名）	
記録者：寒川	司会者：寒川
<b>I. 開会</b>	
<b>II. 議事</b>	
① 2024年9月第一回 介護・医療連携推進会議	
○自己紹介	
② 利用状況の報告	
○上半期実績報告 別紙参照	
・敷地内 高槻けやきの郷サービス付き高齢者住宅 入居者 要介護1～3の方 女性5名 男性1名 ※状態回復により、けやきの郷訪問介護へサービス移行・・・女性1名 契約終了	
・敷地外 要介護1～5の方 女性2名 男性1名 ※状態の悪化でお亡くなりになられた方と施設入所の方・・・男女各1名 契約終了	
③ 活動状況報告	
○広報活動	
*前年度に定期巡回訪問介護看護のサービス紹介動画を作成しその動画QRコード付きのPRチラシを配布させていただいた。その後サービス紹介動画についてのアンケート調査実施。 →ホームページから紹介動画を視聴できるようにしてほしいという要望があったことから、当施設ホームページより視聴可能とした。	
○事業運営	
*ヘルパーステーションとあんしんケアコールセンター24との協働体制について以下の内容を報告する。	
① 今年度から、本格的に両事業所協働体制の構築に向けての動いていることの説明	
② スタッフ間の業務の共有・効率化を図る上で、まずは両事業所の各利用者へ同行訪問の開始	
③ ヘルパーの人員確保の為もあり、両事業所のヘルパーが協働することでのサービスの充実化を図る。 ご利用者が求めるサービスの趣旨を見極め、サービスの選択肢を広げます。	

### Ⅲ.ケース紹介

○在宅終末ケアの訪問看護との連携について

独居にて最期までご自宅での療養を望まれる方に対してのケアを実施しました。

訪問介護からあんしんケア 24 への適切なサービスの移行や、医療関係機関との情報の共有等、どのようなサービスのご提供ができたかをご紹介します。

### Ⅵ.質疑応答（各構成員からのご意見）

○連携に関する訪問看護様からのご意見

・しあわせ訪問看護 U 様～

＊ご利用者には独居者が多いため、ケース紹介にあった連絡ノートで生活状況やご利用者の状態を情報共有に活用することは有効だと思う。

これまでの連携に関しては、サービス時の医療と介護の役割分担が出来ていた。今後も訪問時の異変や緊急対応が必要な際、遠慮せずに報告をして頂きたい。互いの事業所で電話のしやすい関係性を続けていきたい。

→内容によって訪看に連絡をしていいかの判断が迷うことがあるが、今後は連絡を密にしていきたい。引き続き情報共有のツールを活用しながら連携を深めていく。

＊当事業所のサービスに関してお勧めしたい方がおられた際、ケアマネジャーがサービスを認識しておられないケースが多い。ケアマネジャーへの周知活動は行われていないのか。

→以前はケアマネ会議に参加し、サービスの周知活動をさせていただいていましたが、コロナ制限が始まってからはその活動も開催がなく、現状では特にできていない。

○LINE の活用についてのご意見

・ご家族 M 様～

LINE を通して情報を頂いている。不足品なども事前に連絡してくれるので助かっている。

・ご家族 N 様～

頻回して状態確認を行う必要がある時にも、写真を撮って送信してくれるので、何度も行かずしてヘルパーに服薬の変更や、配慮を必要とすることを依頼できるので助かっている。等

→LINE を活用してご家族様と連携をさせて頂いているが、写真の活用は状況説明をすることも多いことから十分に注意しながら活用していく。

○地域からのご意見

・地域住民代表者 K 様～

民生委員の立場から住民の方からは、サービスに直接かかわる話はほとんどない。介護に関する相談をお聞きしたことがあるが、そのような時はまず地域包括支援センターへの相談をしている現状がある。

→今後は、地域にも高槻けやきの郷のサービスが浸透していけるように努力する。

何かあればけやきの郷にも相談してください。

・冠・大塚地域包括支援センター F 様

定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスは、少しずつ浸透してきている実感がある。

地域包括支援センターへも、このサービスに関する相談があった。しかし、その際にご利用とまではならないケースであったが、今後も終末期ケアなどで期待が持てるサービスと考えている。

○今回欠席の他構成員からの文書でのご意見

・いこいの森訪問看護ステーション A 様

（ご利用者の）病状の進行も著しいので、毎日のヘルパーの介入に助かっている。

ご家族が遠方な中で、今後も緊急時などをどのように対応すべきか、また一緒に検討していきたい。

### Ⅴ.その他

○次回開催予定について

2025 年 2 月開催予定

次回開催までに、事前に予定確認のご案内をさせていただくことを周知しました。

※内部評価の結果を基に、外部評価をいただきたい旨、お伝えしました。

### Ⅶ.閉会